

（ほう）こん

題字・清水英夫

GALAC・3月号・付録
2011年3月6日発行（毎月1回6日発行）
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL(03) 5379-5521 / FAX(03) 5379-5510
ホームページ <http://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・橋本 隆

2011年1月25日、今年最初の理事会が開催された。
1 委員会活動報告
◇出版編集委員会 丹羽委員長
・3月号編集終了。プロ野球シーズンインの時期なので「テレビはプロ野球を捨てるのか？」を特集した。直前のテーマとしてタイムリーな企画を打てたと思う。
・4月号。特集は「刑事ドラマ人気の秘密を探れ！」。最近刑事ドラマが大流行。その背景とその人気の背景を探る特集とする。表紙は、吉岡秀隆さん、パーソンは奥浩哉さんで、映画化された人気漫画「GANTZ」の作者。
・5月号は、「ネットとテレビはこれからどうなるか（仮）」で、両者のこれからの関係を探る特集を

考えている。
昨年3Dテレビが話題を呼んだが、今年はアメリカでもネットテレビが浸透しつつあって、おそらく日本にもやってくるのではないかと考えるので特集しようと思う。
◇選奨事業委員会
〈テレビ部門〉 川喜田副委員長
・1月6日に合評会を開催し、12月の月間賞を選んだ。今月は28日、開催予定。
・ギャラクシー賞の次年度の応募要項に関して、「ブルーレイ」、「3D」による作品の応募にどう対応すべきかに関して、理事の意見を聞きたい。↓理事から意見があった。選考委員の視聴の形態の問題もあるので、さらに検討する必

要がある。また、CM委員会との共同の基準が望ましい等の意見があった。
〈ラジオ部門〉 桜井委員長
・1月合評会は、24日に開催。取り上げたのは岩手放送の「のりこの週刊おばさん白書」（パーソナリティ後藤のりこさん）。途中中継される競馬中継を女性アナがやっていて珍しかった。
・委員会での話題としては、①ラジオドラマの復活が話題になってるので注目していきたい。②12月の聴取率調査で、SIUが、6・9%から、6・5%に下がった。ラジオはどうなっていくのか。③auがFM放送の有料配信サービスを開始。課金によるサービスがどういう影響をラジオ界に与えるのか、等があった。
〈CM部門〉 五井委員長
・3か月ごとの開催なので、今回は特になし。
〈報道活動部門〉 碓井委員長
・評価基準の決定に関する議論が活発になってきた。意見が多く集まってきた。もう少し時間をいただければ、なんとか形になる

放送批評懇談会2011シンポジウム、開催決定！

放送批評懇談会シンポジウム2011「ソーシャルメディア時代の放送」を3月8日（火）に開催します。放懇正会員の皆さまのご参加をお待ちしています！ ご案内プログラム、申込用紙は同梱しています。

放送批評懇談会シンポジウム2011

ソーシャルメディア時代の放送 ～ジャーナリズム・コンテンツ・ビジネス～

日時 2011年3月8日（火曜日）13:00～18:00
会場 都市センターホテル コスモスホール／東京都千代田区平河町
受講料 放送批評懇談会正会員（個人）5,000円 維持会員（法人）16,000円
一般19,000円／いずれも資料つき
主催 NPO法人放送批評懇談会
定員 250名予定
対象 民放、NHKの経営・編成・営業・企画・開発および技術担当者。家電、商社、流通など企業のメディア関係担当者。通信事業者。衛星放送事業者。CATV。IT・インターネット関連会社。広告会社。新聞社、出版社。コンテンツ企画会社。制作プロダクション。各種権利団体。自治体。大学・研究者ほか。

13:00-13:10	シンポジウム趣旨
13:10-13:40	基調講演 「クラウド時代と進化する＜クール革命＞」 角川歴彦 角川グループホールディングス取締役会長
13:40-14:20	特別講演 「メディア環境変化を我々はどのようにとらえるべきか」 小林昭夫 博報堂DYメディアパートナーズ 取締役常務執行役員
14:20-16:10	セッション 「ソーシャルメディアとジャーナリズム」 金平茂紀 TBS『報道特集』キャスター 杉本誠司 ニワンゴ 社長 津田大介 ジャーナリスト モデレータ／山田健太 専修大学准教授
16:10-16:20	コーヒープレイク
16:20-17:50	ディスカッション 「ITは放送ビジネスをどう変えるのか」 倉澤治雄 日本テレビ放送網 メディア戦略局主幹 奥 律哉 電通総研 研究主席兼メディアイノベーション研究部長 柳瀬博一 日経ビジネスオンライン プロデューサー モデレータ／藤田真文 法政大学教授
17:50-18:00	シンポジウムまとめ

ネット時代のTVCMを考えたい 茂出木龍太

1976年東京生まれ、アートデザイナーです。昨年5月にデザインスタジオTWO TONE INCを設立し、インタラクティブコンテンツのデザインを中心に活動しています。企業のブランディングサイト、キャンペーンサイトなどの制作に携わることが多いですが、昨年からiPhoneやiPadを始めとした新しいデバイス用のコンテンツやアプリケーションの制作開発が増えてきました。新技術やデバイスに触れる度に、それらが、どうやって人の暮らしを変えていくのか、夢が広がります。それらは単体ではなく、既存の流れと同居しながら、刺激しながら、次の時代に向かっていくのです。

例えば、TVCMとインターネットの関係では、TVCMが情報化しネット上に影響を与えます。TVCMを伝播しているのはインターネットですが、起因はTVCMなのです。この構図は、今後変わりません。ネット時代のTVCM、その関係を改めて見つめ、考えていきたいと思っています。よろしく願います。

だろうと思う。

議論のやりとりの中で、評価基準のことばかりでなく、放懇の報道活動部門はなにを目指しているのか、どんな作品を求めているのかを明確にするために委員自身が足元を見直し考えようではないかと、根本的な議論を行っている。嬉しい喜ばしい流れと思う。これは坂本前委員長時代から継続していることなので、自由な議論の積み重ねの中から結論をまとめていきたい。

◇企画事業委員会 橋本専務理事
・3月8日(火)に都市センターホテルで開くシンポジウム2011の基調講演に角川歴彦氏が決定した。あと1名交渉中。2月10日までにDM発送予定。

◇マイベストTVプロジェクト 滝野プロジェクトリーダー
・サーバーの切り替え中。2月から新しいサーバーになる。2月から一旦リセットして全てのWeb会員に改めて登録していただくことになる。

2 記念事業プロジェクト報告
〈データベースの件〉 川喜田理事
・データベースは、文字だけで作るのは簡単だが、どうせ作るならば動

画がそれにリンクするような形がでないかという理想像を描いているところである。好感触を得ているところもある。

〈トロフィーの件〉 橋本専務理事
・少し進展があった。記念事業委員会が開催できていない状態であるが、兼務の方もいらつしやるので報告する。前後するが、委員会も開いて正式に進めたいと思っている。

・松永真氏とお会いした。プレゼンと言うか、デザイン案の提出を受けた。

再々議論してきたのは、複数のデザインからの選出と言うことであったが、松永氏からはこのひとつである。ご意見を伺いたい。↓デザインに関しての意見・感想の表明多数あり。

・皆さんのご意見をおおざっぱにまとめると、このデザインで進むことに大きな反対はないが、実際の費用(デザイン料及びランニングコスト)と契約内容の詳細をもっと聞かないと、最終判断は無理と言うことであると結論して良いか。↓了解。

・では、委員会の開催も検討しながら、さらに交渉を進める。

ら、さらに交渉を進める。

3 その他

①入会の件 志岐裕子氏↓了承
②退会の件 古西洋氏、千葉守氏↓了承

◇次回以降の理事会日程
2月 2月22日(火)
3月 3月22日(火)

【出席】
音好宏、橋本隆、丹羽美之、桜井聖子、五井千鶴子、碓井広義、滝野俊一、飯田みか、石井彰、川喜田尚、隈部紀生、河野尚行、坂本衛、嶋田親一、稗田政憲

会議記録

「1月」………

28日	25日	24日	20日	6日
(選奨) テレビ月評会	(選奨) ラジオ定例会	(選奨) 出版編集委員会	(選奨) テレビ月評会	(選奨) テレビ月評会
	理事会			

協同組合 日本映像事業協会 ヤング映像 クリエイターを 励ます賞表彰式

1月26日(水)、ANAインターコンチネンタルホテル東京で、協同組合日本映像事業協会(J・VIG)の新年会と「ヤング映像クリエイターを励ます賞」の表彰式が盛大に開催された。写真は来賓として挨拶、乾杯の音頭をとる音好宏理事長。



☆ギャラクシー賞 マイベストTV賞☆

2011年1月度の投票は2月7日(月)開始!

ギャラクシー賞マイベストTV賞2011年1月度作品の投票を2月7日(月)に開始します。正会員の皆さまは、添付した 正会員専用 投票用紙 でマイベストTV賞の投票にご参加ください。

リスト以外の作品を記入できる欄もあります。ご活用ください。

ウェブまたは携帯サイトから参加の場合は、正会員専用のユーザー名ID、パスワードを使って投票ページに入ってください。

正会員の皆さまのご参加をお待ちしています!